

立命館経済學

第 39 卷 第 5 号

1990年12月

後藤 靖 教授退任記念論文集

内 容

後藤 靖 教授退任記念論文集の刊行にあたって……………	三 好 正 巳	1
幕末維新期の山城茶業……………	石 井 寛 治	5
——在来産業と日本近代化——		
明治44年（1911）市制町村制改正と地方改良運動……………	山 中 永 之 佑	34
——大阪市を事例とする考察——		
東芝コンツェルンの成立と軍需……………	下 谷 政 弘	94
アメリカ大企業体制と「ジャパナイゼーション」……………	塩 見 治 人	134
19世紀末フランス・ナショナリズムの境位……………	中 谷 猛	162
——プレ・ファシズム思想の視覚から——		
「三月革命」と官僚政治の相対的自立性の維持 （革命期における憲法制定過程）……………	川 本 和 良	214
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開 ⁽¹⁾ ——		
近代天皇制と社会政策体系……………	三 好 正 巳	244
現代イギリス地域政策の段階と特質 ⁽¹⁾ ……………	若 林 洋 夫	268
軍産複合体と地域開発……………	藤 岡 惇	296
——米国南部の場合——		
産業革命期におけるケムニッツ機械工業の 発展と労働者の状態……………	山 井 敏 章	329
——1860年代ドイツの労働者運動と生産協同組合 ⁽¹⁾ ——		
退任記念講義『近代天皇制研究の現段階と問題点』……………	後 藤 靖	359
後藤 靖 教授の略歴と著作目録……………		375

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第39巻・第3号

論 説

地域経済学の体系に関する一考察……………杉野 園 明
——宮本憲一氏の地域経済学体系批判——

アメリカ南部の農業革命（1933年～1980年）……………藤 岡 惇
——その世界史的意味

CHOW テストによる日本経済の構造変化分析……………本 田 豊

「社会主義」におけるフィリップス曲線と
「スタグフレーション過程」……………大 西 広

研 究

利潤率低下法則と固定資本……………増 田 和 夫
——マルクス『経済学批判要綱』を中心にして——

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第39巻・第4号

論 説

「三月革命」と官僚政治の相対的自立性の
維持〔選挙法と5月選挙〕……………川 本 和 良
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と
社会政策および中間層政策の展開(10)——

米国南部の工業化のメカニズム……………藤 岡 惇

産業別日本経済マクロ計量モデルの計測……………稲 葉 和 夫
森 川 浩 一 郎

ドイツ三月革命期における葉巻労働者の運動（上）……………山 井 敏 章
——生産協同組合の問題を中心に——

発行所 立命館大学経済学会